

領域	助産管理	授業科目	助産管理
単位 (授業時間/時間数)	2 (10 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 助産管理の基本概念を理解する。
2. 助産業務にかかわる法律について理解する。
3. 院内助産・院内助産院における助産業務管理について理解する。

授業内容

1. 助産管理の基本
 - 1) 管理の基本概念とプロセス
 - 2) 助産管理の概念
 - 3) 助産と医療経済

2. 関係法規と助産師の義務・責任
 - 1) 助産師の定義
 - 2) 助産師の業務と・責任と今後の展望
 - 3) 関係法規
 - 4) 助産師の法的責任と義務
 - 5) 助産師の業務・責務と今後の展望

3. 院内助産・院内助産院の管理

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)
 助産学講座 10 助産管理 (医学書院)
 新版 助産師業務要覧 1 基礎編 (日本看護協会出版会)
 新版 助産師業務要覧 2 実践編 (日本看護協会出版会)

参考図書

助産業務ガイドライン 2014 (日本助産師会)

評価方法

終講時 客観式テスト (40点)

領域	助産管理	授業科目	助産管理
単位 (授業時間/時間数)	2 (2 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 助産外来における業務管理と実際について理解する。

授業内容

1. 助産外来
 - 1) 助産外来の運営
 - 2) 助産外来の目的
 - 3) 助産外来の対象となる妊婦
 - 4) 開設時間
 - 5) 場所
 - 6) 助産外来の PR
 - 7) 助産外来の利用時期
 - 8) 担当助産師の基準
 - 9) 医師の報告基準
 - 10) カルテ管理と実際
 - 11) 助産外来の実際
 - 12) 助産師の役割

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 10 助産管理 (医学書院)

参考図書

助産業務ガイドライン 2014 (日本助産師会)

評価方法

出席および講義参加状況にて評価

領域	助産管理	授業科目	助産管理
単位 (授業時間/時間数)	2 (8 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 助産所における助産業務管理について理解する。

授業内容

1. 助産所における助産業務管理
 - 1) 助産所とは
 - 2) 助産所の管理に関する法規
 - 3) 助産所の管理・運営
 - 4) 助産所の経営
 - 5) 開業助産師と周産期センターとのオープンシステム

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 10 助産管理 (医学書院)
 新版 助産師業務要覧 1 基礎編 (日本看護協会出版会)
 新版 助産師業務要覧 2 実践編 (日本看護協会出版会)

参考図書

助産業務ガイドライン 2014 (日本助産師会)

評価方法

終講時 客観式テスト (30点)

領域	助産管理	授業科目	助産管理
単位 (授業時間/時間数)	2 (8/ 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 周産期管理システムとリスクマネジメントについて理解する。
2. 病産院における助産業務管理について理解する。
3. N I C Uでの管理システムについて理解できる

授業内容

1. 周産期管理システムとリスクマネジメント
 - 1) 周産期管理システム
 - 2) 周産期の医療事故とリスクマネジメント
 - 3) 周産期管理における母乳育児支援
2. 病産院における助産業務管理
 - 1) 助産業務管理の過程
 - 2) 助産業務管理の方法
 - 3) 産科棟の管理
 - 4) 外来の助産管理
3. 母児分離中におけるリスクマネジメント
 - 1) 光線療法中の母乳育児支援
 - 2) 帝王切開後の母乳育児支援
 - 3) N I C U入院時 (長期分離) の母乳育児支援
4. N I C U管理システム
 - 1) 未熟児療育医療から周産期医療システムへ
 - 2) N I C Uの概要
 - 3) N I C Uでの診療・看護の基本原則
 - 4) N I C Uでの診療・看護上の一般的注意
 - 5) N I C U管理の基本的知識

授業の進め方

講義

教科書

母乳育児支援講座 (南山堂)
助産学講座 10 助産管理 (医学書院)

参考図書

助産業務ガイドライン 2014 (日本助産師会)

評価方法

終講時 客観式テスト (30点)